



たかごだまのか  
**日本一のお城下市。**  
 高知城の追手門からまっすぐ東へ延びる追手筋は、クスの木とエニフラスが揺れる南国情緒満点のメインストリート。日曜市はその片側2車線を埋めつくし開かれ、出店数およそ300店、市いもの長さ約1km、全国にさまざまな街路市があります。終日路上で開かれ、市として日本の規模を誇ります。市が誕生したのは江戸期、元禄3年(1686年)。土佐のお殿様が定めた「市立」に始まり、庶民の生活市として、200年以上もの長い歴史を生きてきました。人口30万人の地方都市に、その規模、歴史と合わせて、これほどのスケールを誇る街路市があるところには、ほとんどと奇跡に近いのではないのでしょうか。うてまくりのおちゃん、おばあさんたちの夢と元気が情熱をいっしょに今日も約1万7千人の人出で賑わいます。

sunday market history  
**日曜市の今昔**  
 江戸時代、元禄3年に、土佐の殿様が定めた街路市。高知の街路市は、江戸期の元禄3年(1686年)、土佐藩第四代藩主山内豊昌公が、藩の政策として場所と日取りを定めて市立を定めたとに始まるとされています。これは土佐の郷土史である故平尾道雄氏の調査により、山内豊昌公が元禄3年3月に制定した藩法「元禄大定目」に、「市日、毎月2日、17日、朔会町、7日、22日、瀬池町、12日、日新市町」と記されていることが判明したとされています。現在のようない日取りの市からは、明治9年(1876年)のことで、日本の大陽暦採用に伴って高知市の日取りを取り入れたとみられ、現在の日取りの市となったのが日曜市の起源とされています。

街のあちこちに**市**が立つ  
**土佐の街路市**  
 6時頃から15時頃まで。ふだん着の土佐に出会えます。  
 ●場所:上町4~5丁目 ●出店数:18店  
 高知市の中心部を東西に走る電車通り、その上町4丁目から一つ南に入った通りに火曜市が並びます。この通りには幅2mほどの水路が東西に流れており、この水路に戸板を渡しての出店です。買い物と物に周りの歴史ある風情も楽しめます。  
 ●場所:県庁前 ●出店数:65店  
 電車通りと高知県庁からの南北道が交差する「県庁前」。そこから南へ木曜市が並びます。県庁や市役所の官庁、オフィスビルが立ち並び好立地から、日曜市に次いで人気が高く、手軽な昼食や晩ご飯の食材を買い込んだりする姿も見られます。  
 ●場所:愛宕町1丁目 ●出店数:15店  
 愛宕商店街の南北の通りを北へ向かうと、前方を東西に横切るJRの高架が見えてきます。金曜市は、この高架下に店が並びます。古い住宅地に隣接していることなどもあり、買い物客の多くは地域の住民で、出店者と長い時間を重ねた絆でしっかりと結ばれています。



**日曜市住所録**  
 一丁目から7丁目まで日曜市各店ごあんない  
 追手筋  
 高知城通り  
 大橋通り  
 中の橋通り  
 堀詰通り  
 グリーンロード  
 廿代通り  
 駅前電車通り  
 高知駅  
 追手筋  
 高知城通り  
 大橋通り  
 中の橋通り  
 堀詰通り  
 グリーンロード  
 廿代通り  
 駅前電車通り  
 高知駅

日曜市てくてく見て歩きMAP  
 日曜市へのアクセスは路面電車が便利。日曜市を楽しんだ後は、周辺の観光名所も楽しんでね。  
 日曜日開催日...毎週日曜日  
 ●8時頃から15時頃まで  
 ※1月1・2日、8月10~12日は休み

●高知城  
 ●高知城歴史博物館  
 ●龍馬の生まれたまち記念館  
 ●路面電車  
 ●大橋通り商店街  
 ●ひろめ市場  
 ●帯屋町商店街  
 ●はりまや橋



高知市商業振興・外商支援課  
 TEL 088-823-9375 FAX 088-823-4024  
 街路市公式サイト...<https://www.city.kochi.kochi.jp/site/gairochi/>  
 E-mail:kc-151703@city.kochi.lg.jp  
 (表紙紙) 作画:村岡マサヒロ氏 (裏表紙) 作画:井上淳龍氏  
 2023.7発行